

資料4

# 不登校児童生徒支援について

第1回総合教育会議

令和7年5月19日（月）

# 不登校児童生徒支援について

年度	市教委の取り組み
令和 6年度	<ul style="list-style-type: none"><li>①市教育支援センター（まきば）2拠点 校内教育支援センター中学校8校の運営</li><li>②電話相談員の配置</li><li>③指導主事による相談面談受付</li><li>④指導主事による巡回訪問</li></ul>
令和 7年度	<ul style="list-style-type: none"><li>⑤フリースクールへの経済的支援</li><li>⑥小学校5校での校内教育支援センター開設</li><li>⑦訪問型支援の実施（訪問学習指導員の配置）</li><li>⑧心理士の配置による、カウンセリング、他機関との連携強化</li></ul> <p>※⑦⑧については国の補助を活用して設定</p>

# 不登校児童生徒支援について

## 次年度に向けた取り組み

- ①不登校児童生徒家庭への補助
- ②第3のまきばの設定（令和8年度開所目標）
- ③校内教育支援センターの拡充（小学校）
- ④相談窓口としての教育センターの役割強化  
（フリースクール等との連携）
- ⑤多様な学びの場についての調査・研究

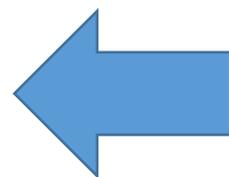
# 校内教育支援センターについて

学校	教室名
印西中	オアシスルーム
木刈中	スマイルルーム
小林中	さくらルーム
原山中	フレンドリールーム
西の原中	コスモスルーム
印旛中	コスモスルーム
滝野中	クローバールーム
船穂中	友愛ルーム
高花小	にじいろルーム
小倉台小	ふらっとルーム
西の原小	サポートルーム
原小	未定
牧の原小	なのはなルーム

- ・昨年度 113 名の利用登録
- ・市配置の指導員による、教育相談、個別学習指導
- ・時間を設定した、中学校教員による個別指導の実施

▲運用に関する共通理解

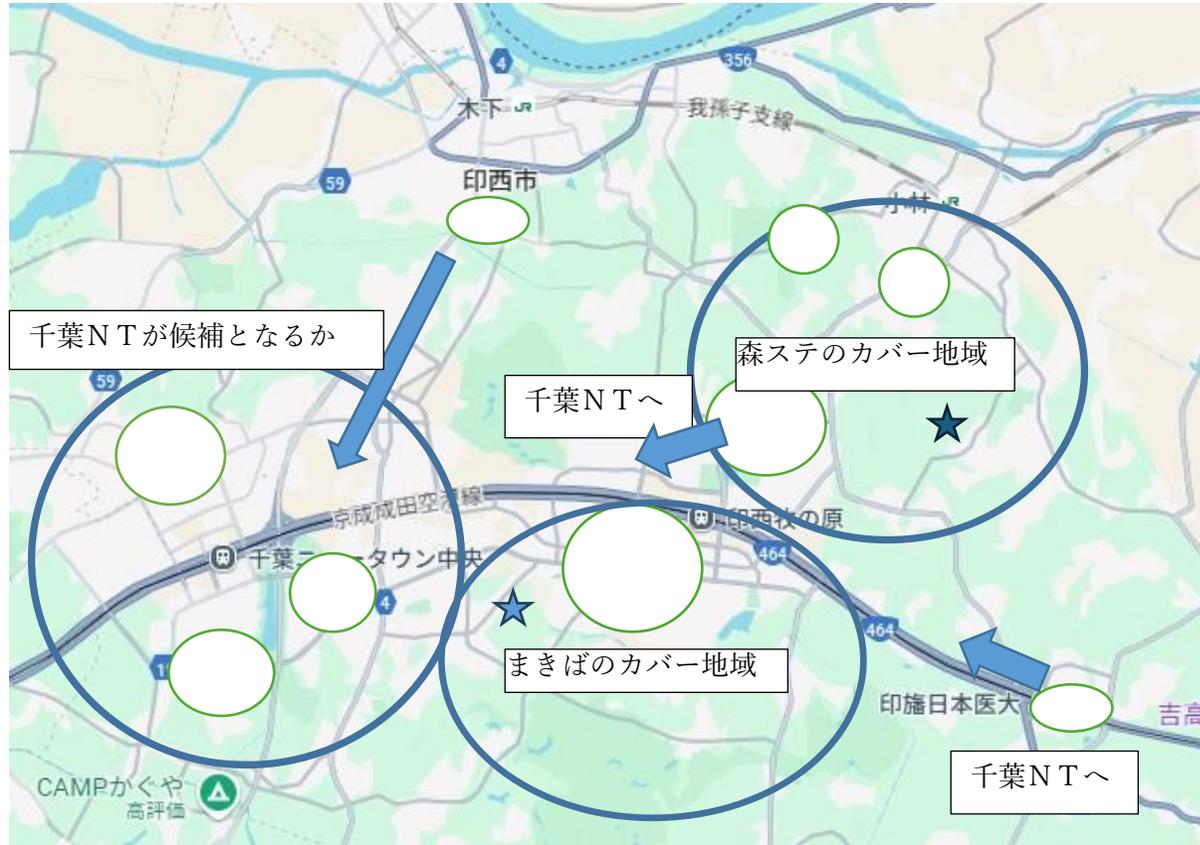
▲本センターの定義の再確認  
(できるだけ多様な実態の児童生徒が通える体制)



現状を考慮した、次年度の設置校の検討

# 市教育支援センターについて

★第3の教育支援センター（仮称 街のステーションまきば）の設置の調査研究



- 千葉ニュータウン近辺のカバーができていない。
- 現状の2拠点のカバー地域と、地図中の長欠傾向児童生徒数から、千葉NT地区がニーズが高いと思われる。
- 滝野地区は自転車で森ステに通う子がいるものの、駅近のほうが条件が良く、牧の原駅付近への移設も候補の一つとなる。